

Komazawa topics

小林、リーグ戦復帰!

約2ヶ月間、戦線を離脱していた小林がついにリーグ戦に復帰した。出場はわずか1分間であったが、会場からは歓声があがった。「怪我の具合はある程度くついたのでやれる」と語る小林の復帰がチームを勢いづける事は間違いないだろう。



▲約2ヶ月間のブランクを経てリーグ戦に復帰した小林



2試合連続の完封勝利に貢献した伊藤



3試合連続アシスト中の塚本

<第16節終了時点順位表>

	チーム名	勝	負	分	得	失	差	勝点
1	法政大学	10	4	2	32	18	+14	32
2	明治大学	9	3	4	28	14	+14	31
3	駒澤大学	9	3	4	28	22	+6	31
4	早稲田大学	9	6	1	40	26	+14	28
5	流通経済大学	8	5	3	27	19	+8	27
6	東京学芸大学	7	5	4	20	19	+1	25
7	順天堂大学	6	5	4	24	21	+3	23
8	中央大学	7	9	0	23	32	-9	21
9	国士館大学	5	8	3	27	29	-2	18
10	青山学院大学	4	10	2	22	35	-13	14
11	東海大学	3	9	4	17	33	-16	13
12	筑波大学	2	12	2	16	36	-20	8

★得点ランキング★

12ゴール	渡邊千真(早大)
	林 陵平(明大)
10ゴール	菅原康太(国士大)
9ゴール	市川雅彦(法大)
	兵藤慎剛(早大)
7ゴール	田中順也(順大)
6ゴール	岡本達也(順大)
	中村祐人(青学大)

★アシストランキング★

8アシスト	岡岡拓朗(法大)
7アシスト	塚本泰史(駒大)
	橋本晃司(明大)
	伊藤大介(順大)
5アシスト	山本脩人(早大)
	柏 好文(国士大)
	大瀧義史(中大)
	兵藤慎剛(早大)

10月14日 14:10 国立西が丘サッカー場

駒大 3(1-0-0) 国士大 (3位・31) (9位・18)

得点者(アシスト)

【駒】30分:八角(高崎)
【駒】61分:山崎(塚本)
【駒】85分:山崎

KOMAZAWA	KOKUSHIKAN
GK①山内達夫(4)	GK①鈴木智幸(4)
DF⑦塚本泰史(4)	DF⑦鈴木達也(2)
DF⑧中山友規(2)	DF⑥濱屋祐輝(2)
DF⑤伊藤 龍(2)	DF④足助 翔(4)
DF⑥湯川貴嗣(4)	DF②天野恒太(2)
MF④菊地光将(4)	MF⑧小島暢明(2)
MF⑥田谷高浩(4)	MF④半田武嗣(4)
MF⑩山崎健太(2)	MF⑩柏 好文(2)
(89分)⑥小林竜樹(4)	MF②先崎勝也(2)
MF⑧八角剛史(4)	(71分)②塩谷 司(1)
FW⑨高崎寛之(4)	FW⑨菅原康太(4)
FW⑩榊原浩一郎(4)	FW⑨高橋 大(2)
(76分)③那倉夢人(2)	(78分)⑩中村祐輝(2)

S U B	S U B
GK②岡 大生(1)	GK④内藤圭佑(2)
DF⑤武田憲明(3)	DF⑤齋藤貴之(3)
DF③市川祐樹(2)	DF④押野多加志(2)
MF⑤島田祐輝(3)	MF⑥大竹隆人(1)
FW⑩三島康平(2)	FW⑥宮内 亨(3)
MANAGER	MANAGER
秋田浩一	村岡幸彦

警告(C)/退場(S)

【駒】70分:菊地光将(C)
【国】76分:濱屋祐輝(C)

[シュート]14:4 [GK]6:11 [CK]5:4 [直接FK]20:13
[間接FK]3:0 [OS]3:0 [主審]抱山公彦 [観衆]約

※上記データは全て左側の数字が駒澤。



MF 山崎健太

MAN OF THE MATCH

山崎1番! 後半の2ゴール、豊富な運動量を生かした守備で、この日の勝利の立役者となった。試合後には「ただ一生懸命やるだけ」と抱負を口にした。

Next Preview vs 東海大学

終盤に向け弾みを

今節の相手は現在第11位の東海大。4敗1分と後期に入ってから勝ちがないが、前期の対戦では、終了5分前に失点を許しドローとなっただけに侮れない相手だ。テクニシャン川島や長身FW佐藤らを守備陣がいかに抑えるかがポイントとなってくる。ここで勝利して、終盤に訪れる上位陣との直接対決に弾みをつける事が出来るか?!

東海大メンバー(左)

熱戦続くIリーグ

関東代表決定戦進出トーナメント vs FC東京学芸



▲FC東京学芸戦先発メンバー

試合結果

☆駒大3-1 FC東学 (3-0) (0-1)

【得点者】() はアシスト
23分:【駒】加藤、28分:【駒】藤井、36分:【駒】山崎、78分:【学】

これまでとは違う雰囲気、そのピッチにはあった。Iリーグ関東代表決定戦進出トーナメント、早大Gの第1試合・早大-国士大戦の壮絶な幕切れが尾を引いていたのは間違いない。予選リーグとは一段違うそのレベル、負けたら終わりという明確なルールを理解するには駒大の選手たちにとって格好なサンプルだったはずである。

これが選手のモチベーションとなったのか、駒大は試合への入り方に成功した。前線でのプレス、縦に早い展開、FC学芸にとってはそれらが異次元のスピードとなって襲いかかった。さらに選手たちに勇気を与えたのがAチームも経験している4年生コンビのゴールだった。23分の加藤はダイレクトボレーで、28分の藤井は圧巻としか言いようのないオーバーヘッドで決めた。「4年だから見

本を見せないといけないと思ってた」と藤井。結果論となるが36分の山崎のゴールで試合は決した。駒大は怒涛のスタートダッシュで試合を制したのだ。

これで関東代表決定戦に進出、目標とする全国へマジックナンバー2が灯った。しかし、初戦の相手は早大。予選リーグでの対戦では0-4と一蹴されたばかりか、Iリーグに限れば昨年の2度の対戦でも勝利はない。しかし藤井は「(前回の対戦は)自分も加藤も出ていないし…。勝ちに行きたいですね」と頼もしい言葉を残した。チームキャプテン小野川が「あと1ヶ月高いモチベーションでできるのは嬉しい」と語る3試合のリーグ戦。しかし、最強の相手との初戦によって、全国への『ラスト3』はトップギアで幕を開ける。

(星 宏樹)

早大と激突!!

10月21(日)11:00~キックオフ

■会場:早大G

・西武新宿線「東伏見」駅下車、徒歩5分